



総合選抜1期生 現同窓会長

石原敬彦さん



甲府第二高等学校第3回卒業生

小林美佐代さん



総合選抜3期生 IB導入時の校長

手島俊樹さん



### 同窓生座談会

## 輝ける120年の歴史を未来へつなぐ

明治35年5月に山梨県立山梨県高等女学校として開校して以来、120年にわたる歴史を紡いできた甲府西高校。その長い年月のなかでは、いくつもの転機がありました。

今回は、その節目節目を知る方々にお集まりいただき、それぞれの心の中、思い出の中にある母校の姿を通して歴史を振り返るとともに、次の世代に向けた思いも存分に語っていただきました。



現生徒会長

姫野爽士さん



IB1期生

清水美保子さん



単位制卒業生 現西高教諭

長谷川拓さん



同窓生座談会の座長を務めた、高見澤校長

## 母校

### それぞれの思い出

高見澤：まずは自己紹介を兼ねて、在学時の学校の様子や思い出などをお話してください。

小林：太平洋戦争の真ただ中にあった1945年に、小学校を卒業して甲府高等女学校（以下甲府高女）に進みました。戦況は悪化していて、食べるものも着るもの

も満足にありませんでしたが、憧れの甲府高女に入学できてとても嬉しかったですね。

8月に終戦を迎えると、世の中がどんどん変わっていきました。学校の制度も現在の6・3・3制になり、甲府高女は甲府第二高等学校（以下甲府二高）になりました。私は併設中学の生徒として3年間学んだ後甲府二高の1年生になり、卒業したのは1951年の3月でした。

石原：私が入学した1975年に甲府二高は共学になり、校舎も寿町から現在地に移転しました。入学式当日、ピカピカの新校舎を見て感激したことを今も鮮明に覚えていています。

思い出されるのは、先生方が情熱を持って学習指導をしてくださったことです。私は、後に甲府西高校（以下西高）の校長になる齊木邦彦君と学区外から来ていたのですが、先生方が7時半には職員室にいらしていたので、朝早く登校して2人で質問に行ったものです。夏休みに八ヶ岳寮で林間学校

があると聞き、楽しい響きに魅かれて参加したら勉強合宿だったこともありました。

生徒会長を務めたことも良い思い出です。全校生徒にどんな文化祭をしたいかと問いかけたところ『模擬店をやりたい』という意見が多かったので、何度も何度もお願いに行き、実現しました。それが今も続いていると聞いてとても嬉しく思います。

手島：1977年に我々が入学し、全学年が共学になると同時に校名も改められました。実は、合格発表のときは甲府二高だったのに、最初のホームルームのときに校内放送で生徒手帳の校歌のページを開くようにと指示があり、「この4月から本校は甲府西高校に変わります。校歌の歌詞も『甲府なる第二高校』から『甲府なる我が西高』に変更しますので、訂正してください」と。ちょっと珍しい経験ですよ。

中学校との違いも感じました。入学してすぐ開催された生徒総会で、校名変更の是非について忌

憚のない意見が交わされる様子を衝撃を受けましたし、「強歩大会を実施するかしないか」といったことも生徒総会で議論した記憶があります。先輩方の姿からは、自分たちなりの西高像を作っていたという気概を感じられ、先生方にも、自分事として生徒たちに考えさせるといふ雰囲気があったように思います。そして、そういうものが脈々と受け継がれ、自由な校風となつて今にながっているんじゃないかということ、校長として戻ってきたときに感じました。

高見澤：こちらが、石原さんと手島さんが在籍されていた頃の西高の写真ですが、周囲には何もなく、本当に田んぼの真ん中に新築の校舎だけが立っていたのですね。

石原：懐かしいですね。当時はグラウンドが整備されておらず、体育の時間と言えば石拾いが定番でした。

長谷川：私が入学したのは2007



年で、総合選抜から全県一区に変わった年でした、入試自体が前年と大きく変わるといふ不安の中で高校受験を迎えたことを覚えていきます。

西高は勉強が大変だと聞いてはいましたが、入学してみると想像を超えていて。一方で、先生方は、勉強が全てではないということも折に触れて伝えてくださいました。バスケットボール部に所属する私にも、「部活動も、行事も、勉強も、全力で楽しもうな」といった温かい励ましの言葉をかけ続けていただいた3年間だったなど、今改めて思います。

その後教員になり、本年4月、西高に赴任しました。母校に勤務する機会はなかなかないので、幸せを感じながら、在学中に指導していただいたことを少しでも生徒に伝えられるよう頑張っています。

清水：2020年に入学しました。インターナショナルバカロレア(以下IB)のフルディプロマプログラムを選択した1期生になります。ちょうどコロナ禍に重なった世代

で、入学式はなく通常の登校は7月から。さらに、卒業するまでマスク生活が続きました。そして、そうした状況にあっても、いかにして青春するかを模索しながら前を向き、部活も、生徒会活動も、行事も、鳳凰祭でのバンドも、やりたことはすべてやった充実の3年間になりました。

今春横浜市立大学に進学し、現在はマスクなしの大学生活を全力で楽しんでいます。

姫野：2021年に入学し、現在、生徒会長を務めています。僕たちの世代は中学3年になるタイミングでコロナ禍が始まり、入学後も、鳳凰祭は2日間YCC文化ホールという異例の開催、夏休みも部活動や課外活動はなく家に籠って生活するしかないという辛い高校生活を送りました。また、西高は自由な校風で、本来なら行事など自由に企画できる部分が多いのですが、感染防止が徹底される学校生活のなか、生徒会も、コロナ禍の中で最大限どのような活動に取り組むことができるかということ

を考え、活動することを余儀なくされてきました。

今年になってほぼ平常に戻り、鳳凰祭でも模擬店や一般公開が実施できました。ようやく憧れの高校生活を楽しむことができました。

## 甲府高女から西高へ

高見澤：改めて小林さんにお聞きしたいのですが、女子校時代はどんな学校で、どんな学校生活を送っていたのでしょうか。

小林：私は戦時下での入学でしたので、教科の勉強ではなく、負傷



者を手当するための包帯の巻き

方や三角巾の使い方、手旗信号やモールス信号を学ぶ日々でした。

7月の甲府大空襲で校舎が焼失したものの、夏休み中に終戦を迎えたので、二学期からは83部隊の兵舎や憲兵場で勉強しました。身一つで戦火を逃れた人もいて服装はバラバラ。椅子も机もないので、小さな座布団を椅子替わりに画板を机替わりに持参しました。ところがその兵舎も1947年1月の失火で全焼してしまい、私たち三回生は甲府一高の講堂へ通うことになりました。しばらくして現在のYCC文化ホールの場所に校舎ができ、ようやく全校生徒が一同に集まって勉強できるようになったときは、本当に嬉しかったですね。南校舎と北校舎をつなぐ渡り廊下にガス台や調理台を持ち出して調理実習をしたり、校庭は焼け出された人のためのバラックで埋め尽くされていたので中庭で体育をやったり…。高校では、陸上、バスケット、バレー、テニス、演劇などの部活動も始まりました。激動の時代でしたが、みんな明るく

健気でしたね。

なかでも思い出深いのが卒業式です。式後の謝恩会でクラス毎に出し物をする事になり、私たちは「チルチルミチル」という演劇をしました。童話の「青い鳥」にアレンジを加えて実際の学校の様子を盛り込み、先生方には名前ではなくあだ名で登場いただいたところ、会場が大きく沸いて、しばらく伝説になりました。

2度の修学旅行も忘れられませんが、入学したのは女学校だったので、4年の過程を終えて卒業する方がいらしたんですね。それで、高校1年の時に日光東照宮と中禅寺湖へ行き、3年の時には京都・奈良への2回目の修学旅行に行きました。夜行列車に乗って、みんなではしゃいで、今思い出してもワクワクします。

高見澤：そんな女子校時代を経て1975年に共学になるわけですが、当時の様子はどうだったのでしょうか。

石原：校舎が新しくなっていて設備

的な問題もありませんでしたし、総合選抜で生徒数も男女同数でのスタートでしたので、女子校に入ったという印象はありませんでした。個人差はあるかもしれませんが、私は甲府二高に合格して嬉しいという気持ちが強かったですね。

手島：私も、女子校の名残りはほとんど感じませんでした。唯一印象に残っているのが応援練習で、団長は男子でしたが、袴姿にたすき掛けをした女子の団員が何人もいらして、凛々しく指導されていました。私など一人残され屋上で校歌を歌わされたのですが、すごくかっこよかったですね。

石原：僕の時には応援団長も女子でした。すごく怖くて、今でもお名前を憶えているほどです。二高は総体でも優勝する強豪校でしたから、その流れでしょうか、女子もごく自然に応援団に入団していました。応援団は憧れの存在であり、ステータスだったんだと思います。

小林：実は私、共学になると聞い



たときに、女子校に強制的に入れられるなんて不本意だろうと、すごく心配だったのでですね。でも、今のお話を聞いて安心しました。

手島：それまでの女子校を引き継ぐというより、新しい学校としてやっていこうという気概が強かったので、抵抗を感じる生徒は少なかったと思いますよ。

高見澤：母校が共学になることに対してはどのように思われましたか？

小林：羨ましいと思いました。早く生まれすぎたと(笑)。女性と男性では視点が違いますから、男女が机を並べて勉強できるのは良いことだと思います。一方で、校名変更には憤りを感じました。二高になったときには、なんで私たちが二なんだ、一じゃないのかと怒りを覚えたんですけれど、西高になるときは二高という校名を残したいという気持ちになっていて、なぜ卒業生にも聞いてくれな



石原：そのことなんですけどね、二高から西高に変わる半年程前、生徒会に、全校生徒にアンケートを取って欲しいという話があり実施したんです。そうしたら、二高のままの方がいいという意見が多かった。学校としても、校名を残したかったのではないかと思うんですよ。ところが正式発表されたのは西高への改名だったので、生徒総会が開催されることになった。なので、先ほど手島さんのお話に出てきた生徒総会は、「校名変更の是非を問う」と言いながら、実は抗議の集会だったんです。残念ながら決定を覆すことはできませんでしたけどね。

手島：当時の生徒には、名前は二高だけど、我々の方が中身はしっかりとしていてということを自分たちが示せばいいんだといった気持ちがあつたんじゃないかと思うんですよ。当時の私は、生徒総会での議論を聞きながらそういう気風のようなものを感じて、生意気にも素敵な生徒集団だと思つたものです。

## 単位制への移行、 そして県下初の 公立IB校へ

高見澤：1996年には、単位制に移行しました。

手島：単位制が西高にもたらした利点の一つが、全県一学区での生徒募集により学力層が均一になったことです。当時は学力差を考慮した習熟度別クラス編制が一般的でしたが、意識差という弊害も生まれていました。その点、西高はフラットになったおかげで一つの集団という意識が醸成され、いろいろな生徒が脚光を浴びることができるようになった。これは、単位制がもたらした良い影響の一つだと思いますね。

高見澤：そして2020年には県下初の公立IB校となります。

手島：設置は県の教育施策の一環ですが、ちょうど認定を受けた時

期に校長として赴任したために準備を担うことになりました。当時最も頭を悩ませたのが、どうすれば西高らしくできるかということでした。IBには素晴らしい理念があるもののそのまま実施するのは難しいため、導入検討委員会の先生方と全国のIB校を視察し、西高に合ったIBのやり方を模索しました。また、本校の生徒や中学生に、いかにしてIBを理解してもらおうかも大きな課題でした。今日、無事ディプロマを取得して立派に大学で活躍している一期生と会うことができ、安心するとともに、この輪がどんどん広がっていくといいな、そういう発信をぜひ卒業生にして欲しいなと、そんな願いも持ちました。

高見澤：清水さんはIBの一期生ですね。

清水：はい。私は中学2年生のときにIBの存在を知り、英語が好きだったこともありぜひ学んでみたいと思っていました。ただ、今思うと当初の理解はあまりに希薄



で、「英語を勉強をして国際問題について学ぶ」程度の漠然としたイメージで始めてしまったために、最初は、ディスカッション形式の授業にも、先生が問いかける抽象的な課題に対して自分なりの答えを導き出していくという学びのスタイルにも戸惑いましたし、相談する先輩もいなかったもので、一緒に受けていた4人で「これでいいのか」と確認し合う日々でした。一方で、1期生として何としてもディプロマを取得しなければという思いは強く、仲間と励まし合いながらひたすら頑張った2年間だったように思います。

高見澤：学びについてはどうでしょう？

清水：より幅広く、深い学びができてきたと感じています。IBでは、国際問題や環境問題をその渦中にいるという認識で勉強しますし、当然のこととして捉えられている事柄も、常に別の視点から見ても、本当に正しいのか、別の糸口はないのかと検討します。そういう新しい視点での学習がとても楽しくて、貴重な学びを得ることができました。そして今大学でも、常に批判的思考を持ち主体的に講義に臨むことができます。

高見澤：学びの内容というよりも、学び方、見方、考え方が身に付いたと。そういった意味では、新しい指導要領はかなりIB寄りになっていますね。

手島：ええ、方向性としては全く同じです。もともとは、国民の識字率を挙げるといような目標のもとで画一的な教育を行ってきたのだと思いますが、現代の成熟した社会では、学び方のルートは一本ではないんですよ。私は、IBのディスカッション的な学びがこ

れまでの日本の教育法より優れているとは思いませんが、それぞれに良さがあるわけですから、選べる環境を作っていることが西高の魅力の一つになっていってくれたらと思います。

高見澤：今、西高では、IBの手法を取り入れた学びも実践していて、その一つが、総合的な探究の時間の課題論文研究になります。姫野君は体験してどう感じますか？

姫野：課題論文研究は、自分が研究したいテーマを探し、研究するという授業ですが、みんなテーマ設定の段階でまずは苦労しています。でも、社会に目を向けたり自分なりの観点で考えたりする機会になり、能動的な学びが得られるので、非常に身になっていると感じています。

高見澤：先日の発表会では、よくこれだけ多面的・多角的に課題研究ができるものだと感心したのですが、実際に指導しておられる長谷川さんは、どのように思われて



いますか？

長谷川：例えば調査をする場合、学内のシステムを使って生徒や教職員に問いかけることもできますのですが、なかには、外部の関係機関に協力を仰ぐなどより広い調査を試みたり、分析段階でも幅広い角度から考察したりと、視野が広がるような取り組みをしている生徒もいます。私自身勉強になる内容もあり、正直驚きました。

高見澤：素晴らしい取り組みだと思うのですが、実はそれを仕掛けたのは手島さんです。よい機会な

ので、課題探究活動を西高のもうひとつの柱に据えていこうというお考えについて、少しお聞かせいただけたらと思うのですが。

手島：IBにはTO Kという独特

な教科活動があり、批判的思考の育成も重要視されます。当時、西高の生徒を見ていて、素直で真面目で優しい子が多いからこそ、少々批判的な視点から見るといふ姿勢も学ばせる必要があるんじゃないか、IBのTO Kを参考に課題探究的な活動に取り組ませることが、一人ひとりの将来の成長につながるっていくんじゃないかと思に至りました。

それからもうひとつ、失敗を経験するべきだと。高校生の段階でみんながみんな立派な論文を書けるわけがなく、いろんな反省や後悔が出てくるはずなんです。それが、次のステップで深い探究に挑むことにつながっていくんじゃないかという期待もあります。

実は私も先日の発表会を拝見したのですが、いろいろな意味で感心しました。ただ、あそこで発表

することがゴールではないので、ぜひ3年生の皆さんには、今回取り組んだ研究を今後に生かして欲しいなと思っています。

## 西高へのメッセージ

高見澤：最後に、これからの西高へのメッセージを頂きたいと思います。

小林：私には、世界に目を向けていればあのような戦争は起こらなかったのではないかとという忸怩たる思いがあり、生徒さんたちにも、世界に目を向けて、日本が今どういう立場にあるか、どのくらい力があるのか、といったことを知ってほしいと思っていました。今はとても良い授業をしておられるのですね。お話を伺いながら、すごく頼もしいなと、嬉しい思いでいっぱいになりました。

それから、ものすごい勢いで進化するITに遅れないような勉強をすると同時に、倫理観を育てたいとも思います。昨今、SNS上での誹謗中傷が社会問題になっ

ていますが、人として大事なものは時代を経ても変わらないので、これからも大事にして欲しいですね。

石原：以前、同窓会の集まりで、

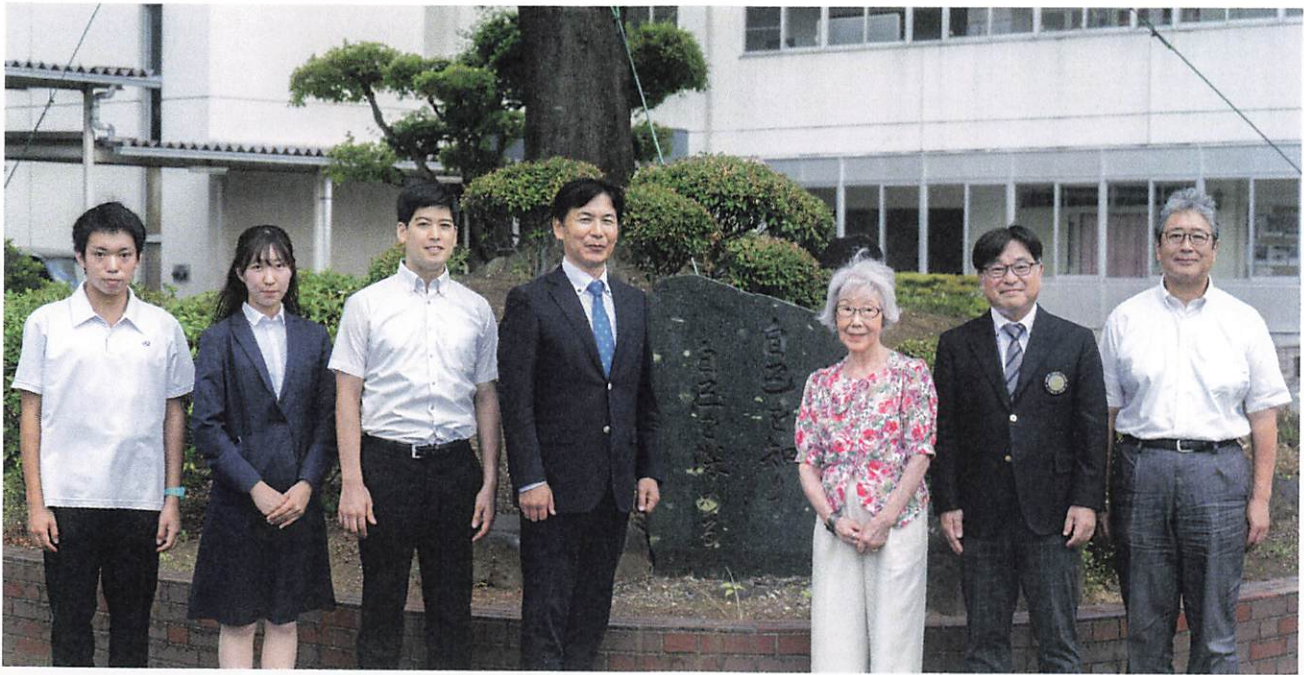
小林さんが「真の青春とは、若き肉体のなかにあるのではなく、若き精神のなかにこそある」というサミュエル・ウルマンの名言を引用したご挨拶をされ、とても感動したことがあります。西高には、小林さんのように、品格があり、教養もあって、人としての優しさに溢れた先輩がたくさんおられますので、一人でも多く出会い、その姿を引き継いで欲しいと思います。それから、僕は中学校の英語教師でしたが、英語の学習法を勉強したくて教員になってから2回海外へ出たことがあります。そこで痛感したのは、自分で考える力、自分の考えを構築する力の必要性です。今は日本の教育もそういう方向になってきてはいますが、西高にはぜひ思考力、判断力、表現力を育むトップリーダーとなっていただ

きたいなと思います。応援してきます。

手島：今日の小林さんのお話もそうですが、私は沖繩のひめゆりの塔へ行つたときに、これを山梨県に置き換えると甲府高女の先輩方の姿なんじゃないかと感じました。それも含め、西高は他の学校にはない歴史のもとに成り立っている学校なのだから、そういった部分を大事にした教育をこれからも続けていただきたいと思えます。

それから、人生100年時代と言われる今、物理的に考えると、高校時代は人生のわずか3%ということになるんですね。でも、実際に





はその人にとって多大な影響を与える非常に重要な3年間であり、人間形成においてかなりのパーセナテージを占める大切な時間なんじゃないかと思うんです。だからこそ、後輩諸君には、勇気を持っていろいろなことに積極的にチャレンジして自分を伸ばしてほしいし、西高には、そういった生徒を応援できる学校、人生の40〜50%は西高時代に築かれたと言われるような3年間を過ごせる学校であってほしいと思います。頑張ってください!

長谷川：高校時代の友人は一生物などと言いますが、実際、私が頻りに交流を続けている友人の多くは高校時代に出会った人たちです。生徒の皆さんにも、今、一緒に生活している友人たちと良い思い出をたくさん作り、友情をはぐくんで欲しいと思います。それから、勉強も大事ですが、まずは自分が健康でいられるように。肉体的にも精神的にも充実した3年間を過ごし、卒業後も西高で良かったと思ってもらえたら嬉し

いですね。

清水：世の中には明確な答えのない課題がたくさんあります。そうした問題を他人事にせず、自分なりの解決策を見つけていこうとする姿勢を在学中に育んで欲しいなと思います。それから、自分の意見を持つこと、その意見を発信することは大事ですが、それには、安心して発信できる環境があることも重要です。その環境が西高にはあると思うので、ぜひこれからも、発信できる人材と同時に、発信を受け入れる人材も育てていただけたらと思います。



姫野：今日は先輩方のいろいろなお話を伺いながら、学ぼうとすればいつでも学べる環境にあることは、すごく恵まれたことなのだと実感しました。また、これから先を生きるために必要な力を養える場も整っている西高はやっぱりすごいなと、改めて思いました。

僕たちの世代はコロナ禍で思うようにいかないことも多かったのですが、今は制限がなくなり、学びたいことを存分に学べる環境になつているので、後輩には、果敢に、能動的に、学びを深めていって欲しいと思うと同時に、自分もその姿勢を崩さず、能動的に学んでいきたいと思っています。

高見澤：先輩方が連綿と培ってこられた西高ならではの品格を受け継ぎ、全ての生徒が深く重みのある3年間を過ごせるよう、また新たな甲府西高校の歴史を紡いでいきたいと思えます。本日はありがとうございました。





# nstage

Kofu Nishi High School

## 西高を振り返る



## 2013の出来事

- 6月22日 - 「富士山-信仰の対象と芸術の源泉」がユネスコの世界文化遺産に登録
- 8月10日 - 甲府市で日本国内史上4位(当時)となる40.7度を記録
- 8月29日 - JRリニア山梨実験線の全線開通
- 9月7日 IOC総会において、2020年夏季オリンピックの開催都市が日本の東京に決定
- 12月4日 - ユネスコ政府間委員会で、『和食-日本人の伝統的な食文化』が無形文化遺産に登録

## 流行語

お・も・て・な・し

今でしょ!

じぇじぇじぇ

倍返し

アベノミクス

ご当地キャラ

特定秘密保護法

PM2.5

ブラック企業

## 山梨県立甲府西高等学校の記録

4月

38年ぶりに女子の制服がリニューアルされ、新しい制服を身にまとった1年次生が入学してきた。上着にはNに鳳凰の羽をデザインした刺繍が入り、リボンもえらべるようになった。また、評判の芳しくなかった体育着も新入生から一新された。



5月

第65回高校総体にて陸上部、剣道部個人、体操部団体が関東大会出場を決め、男子16位女子28位となる。バスケットボール部男子3位。

6月

西美展国文祭スペシャル(第50回記念展)が6月7~13日まで県立美術館にて開催された。今年は記念展ということもあり、本校収蔵作品27作品を含む、会員31、顧問4、生徒18名、計97作品が展示された。

7月

水泳、剣道、陸上、体操女子が関東大会に出場。放送部はNHK杯全国高校放送コンテスト創作テレビドラマ部門に参加。

8月

「長崎しおかぜ総文祭」に美術部の千野さん清水さん保坂さん、文芸部の長田さん、新聞部の鈴木さん坂本さん、将棋部の石川さんの7名が参加した。

10月

野球部1年生大会、決勝戦で東海大甲府高校に敗れたものの終盤に同点に追いつくなど粘りを見せての準優勝となった。



11月

第31回山梨県高等学校芸術文化祭において、囲碁将棋部の男子団体・個人で芸術文化祭賞を受賞。また、美術部窪松さんがポスター部門、茶道部の半田さんが茶道体験作文で最優秀賞を受賞した。



2014の出来事

- 2月14日 - 甲府市で114cmの積雪を観測
- 4月1日 - 消費税が5%から8%へ増税された
- 10月6日 - 青色ダイオードの発明によりノーベル物理学賞が赤崎勇・天野浩・中村修二の3人に決定した
- 12月3日 - 小惑星探査機はやぶさ2が種子島宇宙センターから打ち上げられた
- 12月17日 - リニア中央新幹線の安全祈願式が品川駅と名古屋駅で行われ、建設が開始された

流行語

- ダメよ～ダメダメ
- 集団的自衛権
- ありのまま
- カープ女子
- 壁ドン
- ごきげんよう
- マタハラ
- 妖怪ウォッチ
- レジェンド

山梨県立甲府西高等学校の記録

**4月** 本年度入学の1年次生より6クラス240名定員になった。



**5月** 第66回総合体育大会が行われ、陸上部、体操部が関東大会出場を決めた。

また、水泳部が男女ともに個人種目で優勝、バスケットボール部男子は3位という成績を取めた。

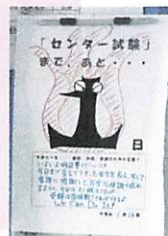
**6月** 吹奏楽部が山梨県吹奏楽コンクール高校Aの部で金賞を受賞、西関東吹奏楽コンクールへの出場を決めた。

**7月** 放送部がNHK杯金国放送コンテスト山梨県大会の創作テレビドラマ部門で、第1位を受賞。作品の一部は、NHKのニュースでも取り上げられた。

**10月** 全国高校選抜優勝大会(ウインターカップ)山梨県大会で、男子バスケットボール部が準優勝。また、女子は目指していたベスト4に10年ぶりに入り、3位に。



**11月** 第32回山梨県高等学校芸術文化祭において、吹奏楽部、囲碁将棋部の男子団体・女子個人山中さん、美術部久保さん、演劇部が芸術文化祭賞を受賞。また、この年は2年生の田上さんがポスター部門で最優秀賞を受賞し、ポスターに採用された。



2015の出来事

- 3月14日 - 富士急行線全18駅でSuica導入
- 7月1日 - 閏秒が適用され、日本標準時では8時59分59秒と9時00分00秒の間に8時59分60秒が追加される
- 10月5日 - ノーベル生理学・医学賞に葦崎市出身の大村智博士が選ばれた
- 10月31日 - 圏央道が東名高速道路から東北自動車道までつながる
- 12月31日 - 原子番号113番元素の発見者が日本の理化学研究所であることが認められ、命名権を獲得

山梨県立甲府西高等学校の記録

4月

1学年が7クラスある最後の年度となる。(学園祭の縦割りブロックが大変だった。学園祭と言えば、2日目エンディングで事件が…)



5月

第67回総合体育大会。

・陸上部

[関東大会出場] 110mハードル 飯島 一貴 棒高跳び 奥田 雅也

400m 鱧池 琴美

4×100mリレー 上条 淳夏・白鳥 舞子・若林 花蓮・鱧池 琴美

4×400mリレー 若林 花蓮・保坂 光里・白鳥 舞子・鱧池 琴美

・体操部

[関東大会出場] 保阪 日南子

・水泳部

[関東大会出場] 200m自由形 優勝 田切 和也

400m自由形 優勝 田切 和也

100m平泳ぎ 準優勝 宮川 真穂

50m平泳ぎ 準優勝 宮川 真穂

50m平泳ぎ 3位 森澤 由

流行語

爆買い

トリプルスリー

安倍政治を許さない

安心して下さい、  
穿いてますよ

一億総活躍社会

エンブレム(問題)

五郎丸(ポーズ)

SEALDs

ドローン

7月

全国高等学校野球選手権大会山梨大会において野球部が20年ぶりのベスト8!。全校応援体制で頑張った。



8月

2015滋賀琵琶湖総文祭に吹奏楽部・美術部の久保翔さんが参加。久保さんは奨励賞を受賞した。



11月

第32回山梨県高等学校芸術文化祭において、

・吹奏楽部 芸術文化祭賞

・美術部 優秀賞 望月友新

・茶道部 優秀賞

・音楽部 優秀賞

・囲碁将棋部 囲碁部門 2位 団体 (前島永幸・小林凜・小林天)、  
囲碁部門 2位 前島永幸

・放送部 朗読部門 芸術文化祭賞 新田佳永、Audio Picture部門 優秀賞

・文芸部 小説部門 芸術文化祭賞 青柳百音

短歌部門 芸術文化祭賞 伊藤奏絵

児童文学部門 優秀賞 根岸茜里、俳句部門 優秀賞 斉木香穂

・新聞部 優秀賞

・国語科 俳句部門 優秀賞 小林蒼一朗、随筆部門 優秀賞 中沢芽伊

## 2016の出来事

- 1月-マイナンバー制度が開始
- 4月14・16日 - 熊本で震度7の地震が発生
- 5月26・27日 - 主要国首脳会議(G7サミット)が三重県の伊勢志摩で開催
- 6月22日 - 18歳選挙権が施行
- 8月 - リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック開催
- 10月3日 - ノーベル生理学・医学賞を大隈良典氏がオートファジーの研究で受賞
- 11月8日 - アメリカ合衆国大統領にトランプ氏が当選

## 流行語

神ってる

聖地巡礼

トランプ現象

マイナス金利

盛り土

ポケモン GO

アモーレ

PPAP

## 山梨県立甲府西高等学校の記録

4月

全年次6クラス編成となり、全校生徒約720人となった。

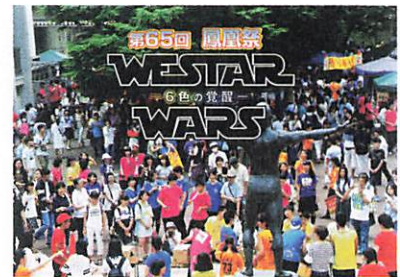
5月

第68回総合体育大会が行われ、陸上部、体操部が関東大会出場を決めた。また、水泳部の田切さんが400m・200mの自由形で優勝、バスケットボール部男子は3位という成績を取めた。



6月

第65回の鳳凰祭が開催される。本年度より2年次の発表が文化ホールになった。(閉祭式での縦ノリも禁止された)



7月

放送部がNHK杯全国高校放送コンテストで、テレビドキュメント部門・創作テレビドラマ部門が1位、アナウンス部門で田中さん、朗読部門で新田さん・中澤さんが入賞し全国大会に参加。部長の新田さんは朗読部門で全国上位60名に入る。

8月

「2016ひろしま総文祭」に放送部の新田さん、新聞部の坂本さん上野さん、文芸部の青柳さん、囲碁部の前島さん望月さん、将棋部の山内さんの7名が参加した。音楽部は全日本合唱コンクール山梨大会で金賞を受賞し、関東大会に出場した。水泳部の田切さんはインターハイ・国体に出場した。

9月

男子バスケットボール部1年生大会、決勝戦で甲府昭和高校に69対31と快勝し、優勝。

11月

関東高校駅伝群馬大会に、陸上女子1年天野さん、佐野さん、矢崎さん2年清水さん、宮崎さんの5人で初出場。県大会の記録を大幅に更新した。



山梨県高等学校芸術文化祭において、吹奏楽部、文芸部小説の部で青柳さん、同じく詩の部で望月さんが芸術文化祭賞を受賞。また、写真部の佐野さん、放送部朗読部門で中沢さんが優秀賞を受賞しH29年のみやぎ総文祭に出場が決定した。

# 2017

2013 2014 2015 2016

2018 2019 2020 2021 2022 2023

## 2017の出来事

- 3月3日 - 任天堂が新型ゲーム機「NintendoSwitch」を発売
- 6月12日 - 上野動物園でパンダ「シャンシャン」が誕生
- 6月26日 - 将棋の藤井4段が29連勝、最多連勝記録を30年ぶりに更新
- 10月5日 - 日系イギリス人のカズオ・イシグロ氏がノーベル文学賞を受賞
- 11月14日 - 地質年代に初の日本名「チバニアン」が“内定”

## 流行語

インスタ映え

付度

35億

Jアラート

ひふみん

フェイクニュース

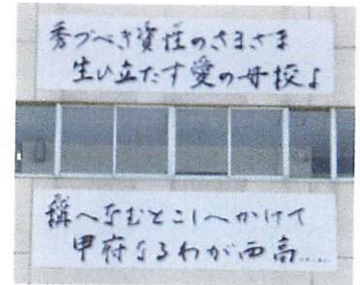
プレミアムフライデー

〇〇ファースト

## 山梨県立甲府西高等学校の記録

3月

甲府西高校は、西高生と西高卒業生をいつまでも応援し続ける学校でありたいとの思い、北館校舎の壁面に、本校校歌三番の後半の歌詞「称へなむとこしへかけて「甲府なるわが西高」」が横断幕の形で掲げられる。



5月

第69回総合体育大会が行われ、本校運動部が16種目に出場。支えてくれた家族への感謝、仲間との絆を胸に練習の成果を発揮し、陸上部、体操部、山岳部が関東大会出場を決めた。体操部渡邊さん、水泳部の田切さんは山形県で行われるインターハイにも出場を決めた。



6月

第66回鳳凰祭「西ほうレベルで盛り上がってる!」が開催され、2000名を超える来場者が来校された。



7月

nstageが創刊50号を迎える。

8月

「H29みやぎ総文祭」に吹奏楽部、文芸部の青柳さん、写真部の佐野さん、放送部の中沢さんの4名が参加した。

9月

男子バスケットボール部1年生大会で優勝し、2連覇を達成した。

11月

高校文化部の祭典「芸術文化祭」が11月に開催された。西高から16部門に159名の生徒が参加し、4つの芸術文化祭賞と美術工芸・放送・新聞の3部門で来年度の全国大会への切符を手にした。

芸術文化祭賞

文芸部 小説の部 青柳さん、詩の部 西田さん

放送部 アナウンス部門 深沢さん、ビデオメッセージ部門

全国大会参加 美術部 坂本さん、新聞部



2013 2014

2015 2016 2017

# 2018

2019 2020 2021 2022 2023

## 2018の出来事

- 5月19日 - カヌエ国際映画祭で、「万引き家族」が、パルムドールを受賞。
- 6月17日 - ルマン24時間耐久レースで、トヨタ勢が初の総合優勝。中嶋一貴は初の日本車による日本人優勝ドライバーに。
- 6月27日 - 小惑星探査機「はやぶさ2」が地球から約3億キロ・メートル離れた小惑星リュウグウに到着。
- 9月8日 - テニスの全米オープン女子シングルスで8日、大坂なおみが優勝
- 10月1日 - ノーベル生理学・医学賞に京都大の本庶佑特別教授が選ばれた。
- 10月11日 - 東京・豊洲市場が開場した。築地市場は83年の歴史に幕を下ろした。

## 流行語

そだねー

eスポーツ

(大迫) 半端ないって

おっさんずラブ

災害級の暑さ

スーパーボランティア

ポーっと生きてんじゃねーよ!

#MeToo

## 山梨県立甲府西高等学校の記録

### 4月

春の青空の下、4月7日新入生241名が新たに仲間入りしました。



### 5月

第70回総合体育大会が行われた。陸上部は学校対抗で4位に入り、12種目で計20名が関東大会出場を決めた。関東大会では功刀さんが男子8種競技で6位入賞を果たした。また、バスケットボール(男子)、卓球部(女子)、体操部も関東大会へ出場した。



### 6月

第67回鳳凰祭「止まらねえ西春67騒ぎ」が行われた。



### 8月

「信州総文祭」に音楽部、新聞部、囲碁部の望月さん、美術部の坂本さん放送部の深沢さん、佐藤さんが参加した。また、彩る感動 東海総体に卓球部平野さん、体操部渡邊さん、篠原さんが出場した。

### 11月

第39回山梨県高等学校芸術文化祭  
 書道部 書道部門 望月さん 優秀賞  
 文芸部 短歌の部 山岸さん 齊木さん 優秀賞  
 俳句の部 雨宮さん 小澤さん 高橋さん 優秀賞  
 放送部 ビデオメッセージ部門 芸術文化祭賞  
 オーディオピクチャー部門 奨励賞  
 新聞部 優秀賞  
 音楽部 優秀賞  
 吹奏楽部 優秀賞



## 2019の出来事

- 4月9日 - 2024年度より発行される新紙幣の表の図柄が1万円札が渋沢栄一、5千円札が津田梅子、千円札が北里柴三郎に決定。
- 5月1日 - 天皇陛下が即位され「令和」が始まる。
- 8月4日 - ゴルフ全英女子オープンで渋野日向子が初優勝。
- 9月20日 - ラグビーW杯日本大会が開催され、日本代表がベスト16に入る。
- 10月1日 - 消費税が8%から10%へ。
- 10月9日 - リチウムイオン電池の開発により吉野彰氏がノーベル化学賞を受賞
- 10月31日 - 首里城の正殿など8棟が焼損。

## 流行語

ONE TEAM

計画運休

軽減税率

スマイリングシンデレラ

タピる

〇〇ペイ

闇営業

令和

## 山梨県立甲府西高等学校の記録

### 令和元年 WESTART

本年度入学の1年次生より6クラス220名定員になった。(前年度より20名減)



4月

5月

6月

第71回総合体育大会が行われた。全運動部が16種目に出場し、男子10点で総合17位、女子9点で総合14位と健闘。

関東大会へは体操部、卓球部、男子バスケット部、陸上部が出場を決めた。



「王西復古の大王令」のテーマの下第68回の鳳凰祭が開催される。



8月

「さが総文祭」に新聞部の宮沢さん、国語科で雨宮さん、放送部で長橋さん、囲碁将棋部の加藤さん達計8名が参加した。また、「感動は無限大 南部九州総体」に体操部の渡邊さん、体操部(新体操)の篠原さんが参加した。

国際バカロレアの説明会が1期生となる予定の中学3年生に向けて開催された。



バカロレアのプログラム説明

TOKとはどんなこと?

ワークショップを体験しよう

11月

### 第40回山梨県高等学校芸術文化祭

- |         |                    |                    |            |        |                |
|---------|--------------------|--------------------|------------|--------|----------------|
| ○書道部門   | 優秀賞 2年 額川 桜子(山梨南中) | 奨励賞 2年 青柳 ゆり(韮崎東中) | ○放送部門      | 優秀賞    | 2年 小山 実生(竜王北中) |
| ○吹奏楽部門  | 芸術文化祭賞             |                    | ビデオメッセージ部門 | 奨励賞    |                |
| ○合唱部門   | 芸術文化祭賞(10年ぶり)      |                    | ○演劇部門      | 優秀賞    |                |
| ○日本音楽部門 | 優秀賞                |                    | ○文学部門      | 俳句の部   | 優秀賞            |
| ○将棋部門   | 女子の部 芸術文化祭賞        | 1年 藤森 あかね(甲府北西中)   | 短歌の部       | 芸術文化祭賞 | 2年 荒井 日菜子(若草中) |
| ○囲碁部門   | 女子団体戦 芸術文化祭賞       | 1年 加藤 万結姫(甲府西中)    | 優秀賞        |        | 3年 山本 水桜(嵐山中)  |
|         |                    | 1年 藤森 あかね          |            |        | 3年 小林 秋桜子(嵐山中) |
|         |                    | 1年 村上 綾香(城南中)      |            |        | 3年 田邊 野乃実(嵐山中) |
|         |                    | 1年 加藤 万結姫          |            |        | 3年 岩間 楓華(一宮中)  |
|         |                    |                    |            |        | 3年 高橋 佳奈(高竹中)  |
|         |                    |                    |            |        | 3年 岡崎 愛弓(甲府東中) |
| ○新聞部門   | 優秀賞                |                    |            |        | 3年 雨宮 知己(飯島中)  |
|         |                    |                    |            |        | 3年 長谷川 舞(玉川中)  |



### 2020の出来事

- 2月27日 - 新型コロナウイルス感染拡大防止のため3月2日から春休みまで臨時休校措置がとられる。
- 3月24日 - 東京オリンピックが延期となる
- 7月3日 - JR東海が、リニア中央新幹線の27年開業が困難になったとの見解を表明。
- 10月16日 - 劇場版『鬼滅の刃』無限列車編が公開され400億円を越す大ヒットに。
- 11月12日 - 家庭用ゲーム機「PlayStation 5」(PS5)が発売

### 流行語

3密

聖愛の不時着

あつまれどうぶつの森

アベノマスク

アマビエ

オンライン○○

鬼滅の刃

Go To キャンペーン

## 山梨県立甲府西高等学校の記録

### 3月

新型コロナウイルスの影響で卒業式を短縮して実施、翌2日より休校となり、短期海外留学も中止された。

### 4月

7日に政府から緊急事態宣言が発令され、生徒のいない異例の新年度となった。

### 5月

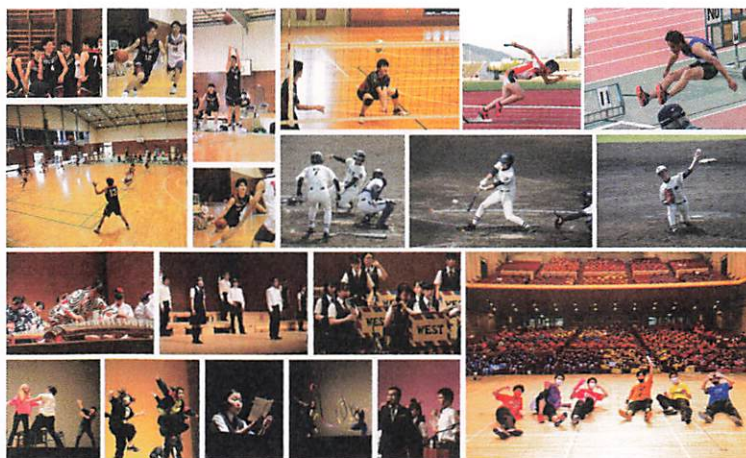
総合体育大会も中止された。宣言解除を受けて、25日より分散登校が開始された。分散登校は各年次とも3クラスずつの午前午後別々の授業であり、当面土・日の行事は自粛した。それでも、校舎には生徒が戻り、学校生活が始まった。しかし前例のない事態で、行事の実施や運営は手探り状態が続いた。

### 6月

2日部活が段階的に再開され、グラウンドに生徒の声が戻った。8日、入学式の代わりに新生生の歓迎セレモニーを行い、新1年生を全校生徒で迎えた。また、鳳凰祭が延期され、YCC県民文化ホールで7月に文化局発表、9月に鳳凰祭を行う事となった。

### 7月

高校野球山梨大会が無観客で実施され、本校は2回戦対塩山10-2、3回戦対吉田7-5と勝ち上がり、ベスト8に入る。また、各部活とも独自の引退試合が開催された。男子バスケットボール部は24日に本校で3年生の引退試合を保護者を招いて実施した。



### 8月

「高知総文祭」はオンライン開催となり、放送部の小山さん、吹奏楽部、新聞部が参加した。

### 11月

第41回芸文祭が行われ、ユネスコ(弁論)部門と新聞部門で来年度の総文祭の切符を手にした。

2021の出来事

- 1月11日 - 山梨学院高校が高校サッカー日本一に
- 2月20日 - 全豪オープンで、大坂なおみ選手が2度目の優勝。
- 4月11日 - ゴルフの松山英樹がマスターズ優勝。日本男子初のメジャー制覇。
- 6月6日 - ゴルフ全米女子OPで笹生優花が初優勝。
- 6月6日 - 陸上男子100メートルで山県亮太が日本新9秒95を樹立。
- 8月8日 - 東京オリンピック開幕、日本は最多の58メダル。
- 11月18日 - 大リーグ大谷翔平がMVPに輝く

流行語

リアル二刀流 / ショータイム

うっせえわ

親ガチャ

ゴン攻め / ビッタビタ

ジェンダー平等

人流

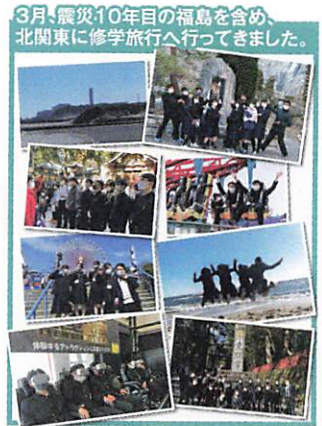
Z世代

黙食

山梨県立甲府西高等学校の記録

3月

前年12月から延期されていた2年次の修学旅行が、北関東(栃木・福島方面)に2泊3日を実施。福島では東日本大震災10年目の現状や日光では東照宮など見学した。



3月、震災10年目の福島を含め、北関東に修学旅行へ行ってきました。

4月

本年度入学の1年次生より5クラス200名定員になった。国際バカロレア教育を履修する1期生(2年次)の授業が始まる。



5月

総合体育大会が2年ぶり開かれ、陸上部、体操部、卓球部、山岳部が関東大会出場を決めた。

6月

第70回の鳳凰祭も2年連続コロナ禍となり、例年と大きく変更を余儀なくされながらも、開催。一般公開は無し、YCC県民文化ホールを1日半貸し切って行った、制約が多く、声を出せない中でも盛り上がる事が出来た。



オープニング

大空杯

年次対抗

幕間

文化部パフォーマンス・展示

エンディング

ホールと学校で、日頃の文化部の活動を発表することができました。

エンディングで商高が一つ!

学園祭をまとめたブロック長たち

8月

卓球部、体操部がインターハイに出場。和歌山総文祭にユネスコの弁論部門で窪川さん、新聞部、囲碁将棋部、音楽部が参加した。放送部はNHK杯全国高校放送コンテストへテレビドキュメント部門と校内放送研究発表会の2部門で出場し、テレビドキュメント部門では準決勝まで進み政策奨励賞を受賞した。美術部は第47回UTY教育美術展で山梨県知事賞を後藤さん、山梨県教育長賞を古屋さんテレビ山梨賞を畑野さんと矢崎さんがそれぞれ受賞した。

11月

第42回山梨県高等学校芸術文化祭において、テーマ部門「止めるな芸術 止まるな私」で中田さんが最優秀賞を受賞し、本年度のテーマとなった。美術部の古屋さんが芸術文化祭賞。将棋部門男子の部で西川さんも芸術文化祭賞を受賞した。

演劇部門	優秀賞	美術・工芸部門	奨励賞	南宮悠明(甲府北西中)	粟嶋由梨(甲府北中)
	創作脚本奨励賞	放送部門	アナウンス部門	奥山南(梨大附属中)	
合唱部門	優秀賞	将棋部門	男子の部	第3位	狩野竜馬(梨大附属中)
吹奏楽部門	優秀賞	文学部門	詩部門	奨励賞	中本真央(玉穂中)
日本音楽部門	優秀賞	短歌部門	奨励賞	小林一輝(玉穂中)	久保田弥生(田宮中)
新聞部門	優秀賞	俳句部門	優秀賞	上田晃太郎(甲府北東中)	大森拓也(玉穂中)
書道部門	優秀賞			常盤貴央(御形中)	
茶道部門	優秀賞			秋山達香(白根御徒中)	榎谷心彩音(梨大附属中)
ユネスコ部門	奨励賞			四辻晴(若草中)	土橋沙包(御形中)
				中村加未(甲府北東中)	
				保坂優奈(御形中)	松田裕大(甲府南中)
					湯川大智(甲府南中)

ダヴィンチの 遠近法は 青を足す 僕らの春が 青い理由か

## 2022の出来事

- 2月4日 - 北京オリンピックが開催され日本は18個のメダルを獲得した。
- 4月1日 - 改正民法が施行され、成人年齢が18歳に
- 8月9日 - 大リーグ・エンゼルスの大谷翔平が104年ぶりに「2桁勝利、2桁本塁打」を達成した。
- 10月20日 - 円相場がバブル期の1990年以来、1ドル=150円台まで下落した。
- 11月23日 - サッカーW杯で日本がドイツ・スペインを破り16強。

## 流行語

村神様

キーウ

きつねダンス

国葬儀

宗教2世

知らんけど

スマホショルダー

Yakult 1000

## 山梨県立甲府西高等学校の記録

### 4月

今年度もコロナ禍での「新しい生活様式」と感染拡大防止を柱として、学校生活が始まった。6クラスがある最後の年となった。

### 5月

第73回総合体育大会が行われ、陸上部、体操部、卓球部、水泳部が関東大会出場を決めた。



### 6月

第71回鳳凰祭を2日間にわたり、実施した。1日目YCC県民文化ホール、2日目西高で一般公開はせず、各生徒1名の保護者を時間を分けて来校していただいた。2年ぶりに模擬店を出店したが、飲食が難しいので、射的やインスタ映えスポット等各クラス工夫を凝らしたものとなった。



### 7月

## n-Quest ~探究活動~



7月8日(金)YCC 県民文化ホールで課題論文発表会「第1回 n-Quest 西高探究の日」が行われました。  
生徒たちは、自分自身が関心を持った課題に対して批判的な視点をもって自ら学び探究することにより、真理を求め自分の力で主体的に生きていく姿勢を身に付けることができるよう、課題論文に取り組んできました。その集大成として、3年次生代表者10名が発表会を行いました。

### 8月

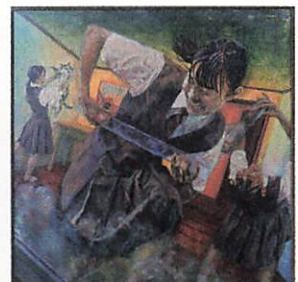
インターハイが愛媛県で行われ、卓球部の平野さんが参加した。「東京都総文祭」に音楽部、新聞部、美術部の古屋、将棋部の西川さん、書道部の大関さんが参加した。美術部はUTY教育美術展で加賀美さんが文部科学大臣賞を受賞し、テレビ山梨賞に古屋さん、佳作に櫻場さん、湖上さんが入賞した。

### 11月

第43回山梨県芸術文化祭にて、文学部門短歌部門で志村さん、合唱部門で音楽部、美術工芸部門で加賀美さんがそれぞれ芸術文化祭賞を受賞し、翌年の総文祭に参加を決めた。



芸術文化祭賞 合唱部門



芸術文化祭賞 美術工芸部門

## 2023の出来事

- 3月21日 - ワールド・ベースボール・クラシックで日本が3度目の優勝を果たした。
- 5月8日 - 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が8日、季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げられた。
- 9月1日 - 気象庁は、今年の夏(6~8月)の平均気温が、1898年の統計開始以降で最も高かったと発表した。
- 10月11日 - 将棋の王座戦五番勝負で、藤井聡太竜王が3勝1敗でタイトルを奪取し、史上初の八冠独占を成し遂げた。

## 流行語

アレ (A.R.E.)

新しい学校のリーダーズ

OSO18

蛙化現象

生成AI

地球沸騰化

ペッパーミル・パフォーマンス

観る将

## 山梨県立甲府西高等学校の記録

### 4月

本年度より全年次5クラスになった。



### 5月

第74回総合体育大会が行われ、小瀬で4年ぶりにテント村が復活した。陸上部、体操部、男子ソフトテニス部、水泳部が関東大会出場を決めた。



### 6月

第72回鳳凰祭が4年ぶりに入場制限なしで開催(2日目)。約1200名を超える来校者で、賑わいを取り戻した。

### 7月

体操女子がインターハイに参加。かごしま総文祭に美術部の加賀美さん、文芸部の志村さん、新聞部の田中さん佐藤さん秋山さん小池さん岡田さん、将棋部の近藤さん田中さん長谷部さん、書道部の小野さんが参加した。



体操競技(体操部)  
松住祐星 小野穂  
塩澤彩華 横内環子

美術・工芸部門(美術部)  
総合開会式出演  
加賀美美

文芸部門(短歌)  
志村晃太郎

新聞部門(新聞部)  
田中健部 佐藤李樹  
秋山翔弥 小池風花  
岡田真歩

将棋部門(囲碁将棋部)  
近藤俊太 田中康大  
長谷部龍範

書道部門(書道部)  
小野和奏

### 10月

5日、120周年記念式典・記念講演会がYCC県民文化ホールで開催された。21日本校ダンス部が東京ガールズコレクションのFES YAMANASHI 2023にバックダンサーとして出演。



### 11月

山梨県高等学校芸術文化祭において、鳳凰学の坂本さん岡田さん清水さんが社会科学部門で、囲碁将棋部の男子団体・男子個人佐藤さん、美術部森田さん、書道部神野さんがテーマ揮毫部門芸術文化祭賞を受賞した。また、演劇部、茶道部、箏曲部、小説部門、詩部門で樋口さん、短歌部門、俳句部門で多数名、写真部小林さん、芸文祭テーマ部門で飯島さんが優秀賞に選ばれ、関東大会へ出場する生徒も多数入賞した。

第13回科学の甲子園山梨大会にて、甲府西高Aチーム(太田さん、廣瀬さん、神野さん、長沼さん、新津さん、上原さん、武田さん、宮田さん)が総合競技部門1位となり、決勝戦に進み、総合で第4位となった。